

輝き

Kagayaki

Vol.5

2007年10月7日発行

協働!感動!躍動!

きょうりゅう かんどう やくどう

いきいきと輝くまち・三鷹



【発行所】清原けい子後援会事務所 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭1-14-23 Tel&Fax.0422-71-0150

「更なる挑戦、みたか新時代」をめざして

三鷹市長 清原 慶子

皆様から再びご信託をいただき、4月30日から三鷹市長としての2期目の任期に入りました。4年前に立候補を決断したときから今日にいたるまで、皆様からいただいた暖かいお心配りと力強いご支援に、改めて心より御礼申し上げます。

2期目への挑戦を心に決めたのは、実は昨年11月のことでした。私は、1期目の任期において、市長の職責を一生懸命努めてまいりました。けれども三鷹市政にはまだ沢山の課題があると認識しました。

その課題解決のために、そしてさらなる市政の飛躍、発展のために、今一度尽力したいとの思いを強くした私は、応援してくださる皆様のお力を支えに、2期目への挑戦を決意したのです。

立候補にあたって、私は**4つの柱**(※1)と、**(カキクケコ)の5つの主な政策**(※2)を掲げました。中でも4つの柱のひとつである「都市の再生・再構築」は、大げさではなく2期目の私に課せられた大きな「歴史的使命」ではないかと、いま考えています。1960年代、急激な人口増加とそれによる都市化が三鷹市では急速に進み、公共施設や下水道を始めとする様々な都市施設が全国に先駆けて整備されてきました。その時代の施設が、現在、一斉に老朽化に直面しています。

市民の皆様「生命と財産を守る」ことは何よりも市政の最優先事項です。課題のひとつひとつに丁寧に対応すると同時に、都市全体を視野に入れた良い意味で大胆な決断も求められていると思います。さらに、財源を考え、優先順位を明確にして計画的な対応をしながらも、緊急な対応を適時に迅速に実行する決断力も求められています。

激しく変化する時代にあって、市民の皆様と課題を共有し、共に解決していくために、三鷹市は「創造的自治体」としてこれからも前進し続けていかなければなりません。どうぞ、2期目も引き続き皆様力強いご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

(※1) **4つの柱**: ①まちのハード面では、都市の再生・再構築に取り組みます ②まちのソフト面では、市民生活を守るための「三鷹市独自の支援策」を実施します ③最も大切な財産は「人」、参加と協働が日常化するまちをつくります ④徹底した行財政改革を行ない、「行政改革度・日本一」の市政運営をさらに進めます。

(※2) **(カキクケコ)の5つの主な政策**: **カ**…活力あるまちづくり、**キ**…協働と参加のまちづくり、**ク**…くらしを守るまちづくり、**ケ**…健康長寿のまちづくり、**コ**…子ども・子育てのまちづくり

